

美術科における学習困難点

中 野 満 男

まえがき

美術科の主要な教育目標が、その学習内容よりも人格形成的な面におかれ、その指導がその目的に向って行われるとき、学習の困難点は、教育内容の面よりも、学習の過程における創造性とか、誠実とかいうような「働き」の面の中により多く存在すると思う。

その働きの殆どは、一つの場で相重り相関連してあらわれるものであるために、その個々の困難点を個別にとり出してながめることはある意味では不可能といえるかも知れない。しかし指導者としては、相関した結び目をほどこけるだけほどこいて、その一本ずつをよく検討してみることは意味のないことではないと思われる。しかし、これを学年別に順序づけることまでは出来ないし、又そうすべきことがらでもないと思うので、これをここでは「一般的困難点」なる項目を設けて、学年別の分析を行うことなしにならべてみたい。

次に学習内容の面であるが、これは覚えることがらで少く、感覚面で訓練することが多い。具体的には、色々と扱い方を変えることによって学習興味をよびさまざまながらも、実は単純なことがらをくり返し訓練し、感覚的に身につけさせるといったことが多く行われるものである。その上これには個人の能力差の問題もからんでくるので、これも又学年別の分析は中々困難なことである。しかしそれをできるだけ行ってはみたものの、これは指導上の一応の目安と考えてみたい。だから、例えば或る生徒にとっては一年生の困難点が三年生になってもなお残り、又或る生徒は一年生で三年生の困難点があてはまる、というような場合もしばしばあり得るし、又むしろそれを当然のこととしてそれに適合した指導が普通には行われているのである。

さて、以上のことから想像されることとしては、美術科の学習では、教えるというよりは、何かを育てるという色彩が強いので、その指導は指導者の指導方法や性格などによって生まれる指導上の差違が非常に大きいと思われる。したがって、すべての指導者から見た学習困難点というものは完全に共通したものがあり得ないであろう。それ故、次にのべる学習困難点は一箇の指導者がとらえたものとして、又は抽出の一例としてながめて頂きたいと思う。

根本的学習困難点

内 容	対 策
1. 模倣と誠実、乱暴と迫力の区別がつかない。 イ. 模倣による創造性の欠除。 ロ. 自由な表現に対する消極性（億病さ） これは比較的真面目な性質の生徒や、優秀な成績の生徒に見られる。 ハ. 誠実さの欠けるもの。 これは粗雑な性質や根気のない性質の生徒に見られる。	自由表現において a. なるべく多様な表現方法をとらせる。 b. なるべく固定概念にないような題を与える。 例えば「空を入れない風景」 c. 模倣を注意し、独創的な部分を賞める。 デザインにおいて a. 徹底的に機能を考えさせ、そこから出発させる。 （特に機能を目的としたデザイン） b. 変った材料で作ることをさせる。 例えば「鉄線で本立てを作る」 各教材の目的をできるだけはっきり示す。

<p>ニ. 作品のよい悪いがわからないのでどういうようにするかわからない。</p> <p>2. 慢然とした創作態度。 イ. 感覚や着想の大切さを考えず、仕上げの技巧だけを考える。 ロ. 作品を作る前にしっかりした意図を持たず、結果の予想もしない。 ハ. 総合的な効果に意を用いない。</p> <p>3. 自信そう失による表現意欲の減退。 イ. 先入観から。 ロ. 技術が下手であるから。 ハ. 他の生徒と比べて上手に出来ないから。 ニ. 教師の言うように出来ないから。 ホ. 失敗した経験によって。 ヘ. 時間の不足や不器用さによって完全な作品が出来ないから。 ト. 通知表の点が悪いから。</p>	<p>独創的なものや、意欲的な作品をとり上げる時には、とり上げ方をとくに注意してよく説明する。</p> <p>a. 事前、事後の指導に意を用いる。 b. 効果的に鑑賞教育をかみ合わせる。</p> <p>a. 基礎的な技術の指導に留意する。 b. 技法や材料を多様にし、よいところがあればはっきりとりあげる。 c. あまり程度の高いことを要求しない。 d. 仕上げを急がせない。</p>
---	--

中 学 校 の 部

学習内容の困難点

事 項	困 難 点 の 内 容	考 察
1 年		
写生による表現	1. 個々の形 2. 色の変化と統一 3. 構図 4. 遠近 5. 粘土による量感 6. 石膏像素描	1. 形がよくかけない。 2. 絵具で思うように色が出せない。 イ. 色をよく見たり考えたりしないで漫然と概念的な色をぬる。 ロ. 混色を知らない。又は混色しすぎて発色が悪くなる。 ハ. 画面全体の色彩効果を考えない。 3. 忠実にものを写しとることだけがよいとして、構図に意を用いない。又は理解出来ない。 4. 透視遠近法の理解が難しい。 透視遠近法以外の遠近法がわからない。 色の遠近の働きがわからない。 5. 立体の持つ力を感じ得ない。 6. 形体の全体的把握が難しく、部分的末梢的描写に流れ易い。
構想による表現	1. 空想的な絵	1. 模倣的空想になり易く、素直な着想や創造が生まれにくい。 例えば男子では空想科学風に、女子では少女趣味的になり易いなど。 形や色等の造形性による空想表現が出来なくて事物の描写による説明で表現する。
色や形などの基礎練習	1. 配色練習	1. 美しい配色は見て理解は出来るが表現することが出来ない。 色彩を調和させる感覚が充分でない。特に類似的色彩による弱い配色が難しい。

美術科における学習困難点

<p>デザイン 表示練習</p> <p>デザイン</p> <p>鑑賞</p>	<p>2. 構成練習</p> <p>イ. 形を美しく構成する</p> <p>ロ. 種々の技法による造形 (半偶然的な美)</p> <p>1. 精密な表わし方</p> <p>2. 簡略な表わし方</p> <p>1. 文字, マーク</p> <p>2. ポスター, 表紙</p> <p>1. 絵画, 彫刻</p>	<p>イ. 美しい作品, 美しくない作品の区別がわかって, その理由がわからない。したがって作品を反省して順次よい作品を作っていくことが出来ない。</p> <p>ロ. 珍しい技法に溺れて遊びになり易く, 効果的にこれを組み立てる実験的態度にならない。 偶然の作品の中からよいものを選び出すことが難しい。(その為の感覚が充分でない。)</p> <p>1. 対象の構造についての観察をよく行わない。そのために, 「全体の構造からわり出された部分」にならないで部分のよせ集めになる。</p> <p>2. 簡略化するためにとり出す要点がわからない。</p> <p>1. 文字も絵も単純にすることが出来ない。複雑にしなければ美しくならないという観念が根強く飾り立てようとする。(過程としては必要かもしれないが) 形の美しさがわからないので文字の形の美しさもよくわからない。</p> <p>2. 文字と絵との形の調和がとれない。 文字や絵の配置, 面積, 色彩などをまとめて構成する力がない。 着想の程度が低い。</p> <p>1. 場面や事物の表面的再現にひかれ, 形や色の美しさや感情を感じとらない。 単純化された色や形の感情や意味がわからない。</p>
<p>2 年</p>		
<p>写生による表現</p> <p>色や形などの基礎練習</p>	<p>1. 色と形の画面効果</p> <p>2. 風景の写生と関連した透視図</p> <p>3. いろいろな表現</p> <p>4. 版画</p> <p>5. 石膏像素描</p> <p>1. 配色練習 いろいろな感じの表現</p> <p>2. 形や色の構成練習</p>	<p>1. 実物の色にとらわれすぎて, 画面の色彩効果を表わすことができない。 絵具の色そのものの強さや美しさがよくわからない。 構図のよい悪いがはっきりわからない。</p> <p>2. 単純な形の風景や単純単一な物体でなければわからなくなる。</p> <p>3. 精密正確な表現と, 簡単に要点を捉えた表現との区別や使い分けが出来ない。 線のもつ美しさがよくわからない。又表現出来ない。</p> <p>4. いろいろな版画材料のもつ表現の特徴や感じの違いがわからないし, そのためにその特徴を生かして表現することができない。</p> <p>5. 形の比例を捉えることが難しい。 線で表わしやすい。 陰影部の階調を複雑に表わすことができない。</p> <p>1. 配色による感じの違いを理解できても表現が難しい。又色の三要素の知識を得てからこれを行うと比較的容易であるが独創性が弱くなる。 絵具を混ぜて色の明度や彩度を変えることが難しい。 面積や配置が配色に与える影響をよく感じる事ができない。</p> <p>2. 着想や配置の重要さがよく理解できない。 簡潔な美しさがわからない。</p>

<p>デザイン 表示練習</p> <p>デザイン</p> <p>鑑賞</p>	<p>1. 立体の表わし方(斜投影図, 等角投影図)</p> <p>2. 展示</p> <p>3. 日用品のデザインと製作</p> <p>1. 日本の美術(東洋)</p>	<p>質感の美しさや対比がわからない, 又それを生かすことができない。</p> <p>1. 図法的には間違いなく描けるが自然な感じにすることが難しい。</p> <p>2. 形のつり合い, 構成がよくわからない。 質感を生かすことがわからない。</p> <p>3. 材料の性質にあまり意を用いない。 機能の正しい理解ができない。 (機能的にするということは使用法や使用目的を複雑にすることであるという考え方が抜けない) 機能, 構造, 材料, 技術, 美しさ等の相関関係を調和させることが難しい。 実物(出来上り)の大きさから受ける感じを予測できない。 材料の美しさを理解せず, 表面的な装飾で素材をかくしてしまう。</p> <p>1. 表現の素朴さが理解できず, 複雑で精巧なものをよいと思う。 華やかな美しさは理解出来るが沈んだ美しさや簡潔な美しさがわからない。 荒けつりな力動的な美しさは或る程度理解出来るが, 微妙な美しさはわからない。</p>
<p>3 年</p>		
<p>写生による表現</p> <p>デザイン 表示練習</p> <p>デザイン</p>	<p>1. 彩画</p> <p>2. 石膏像素描</p> <p>3. 粘土による彫塑的表現</p> <p>4. 明暗を単化する表現</p> <p>5. 構想による表現 フォートモンタージュの構成</p> <p>1. 展示</p> <p>1. 実用品のデザイン</p> <p>2. 商業デザイン イ. 包装, レッテル</p>	<p>1. 画面の構成がよくわからない。 実物の色を画面上の効果的な色彩におきかえることができない。 絵具の色そのものの強さや美しさがわかってもその働きを生かして表現することができない。</p> <p>2. 画面への形の入れ方がうまくできない。 大きな感じが表わせない。</p> <p>3. 全体的な形に対する配慮の不足から, 部分描写が全体の形をこわす。 指やへらのタッチの美しさや感情を感じないで, 滑らかな弱い地肌をよいと考える。 形の骨組みをとらえることができない。</p> <p>4. 線でとらえることをし易い。(輪かく線がないとおちつけない。)</p> <p>5. 着想が平凡になり易い。 物語的(説明的)表現は比較的よくできるが, 面積の対比や分割等による造形的な処理や着想ができない。</p> <p>1. 変化と動きに対する配慮がない(練習場面の制約にもよる)形体には比較的敏感であるが色彩の考慮が粗雑になる。</p> <p>1. 機能, 構造, 材料から形体が生まれることが十分に理解出来ない。 作品が趣味的なものになり易い。</p> <p>イ. 従来のものにとらわれ易く, 独創性がない。 立体的に考えることが難しい。</p>

美術科における学習困難点

<p>配置配合</p> <p>鑑賞</p>	<p>ロ. ショーウィンドウ</p> <p>1. 家具, 什器等の配置 庭園</p> <p>1. 西洋の美術</p>	<p>ロ. 実物の色と絵具の色, 立体的な実物と平面的な製図の違いから, そのものの感じを十分に表現できない。 製図や描写の能力の不足が表現の抵抗になる。 単純で象徴的な美しさを理解しない。</p> <p>1. 製図又は模型によらざるを得ないので前記「ショーウィンドウ」の場合と同じ困難点がある。 合理性と美観との調和がよくわからない。</p> <p>1. 写実性のある美術は理解出来るが, 実物からはなれた画面上の造形的な色彩や構成がよく理解できない。</p>
-----------------------	--	---

高等学校の部

事項	困難点の内容	考 察
<p>絵画・彫刻</p>	<p>1. 石膏デッサン</p> <p>2. 人物速写</p> <p>3. 彩画</p> <p>4. 彫刻的表現</p>	<p>1. 塊として形を把握することが難しい。 立体の結合を正しく表現できない。 細部の明暗にとらわれすぎて全体の明暗関係をこわす。</p> <p>2. 動きある人体の基本線をとらえることが難しい。</p> <p>3. 省略(構成的なとらえ方)が難しい。 構図に対する配慮が不十分で構成が弱い。 色彩の対比関係によって色の強さを生かすことがよくわからない。 調子(色彩の階調)による表現と色面による表現とを自由に使いわけることが難しい。 形の歪形や誇張による感情の表現は理解できるが表現できない。 色彩や筆触による感情の表現は理解できるが表現できない。</p> <p>4. 立体的, 量的に表わせないで平面的になる。 塊の力や感情が理解できていても表現ができない。 力ある形の骨格がわからない。</p>
<p>デザイン 基礎練習</p>	<p>1. 構成練習</p> <p>2. 材料, 構造の練習</p> <p>3. 展示練習</p>	<p>1. 形体と色彩による調和の感覚が充分でない。 線や色彩で作品に効果的な強調を与えることができない。</p> <p>2. 模様のなものの模倣に流れる。</p> <p>3. 平面的になり易く, 立体化が難しい。又平面, 半立体, 立体の間の自由さが得られない。</p>
<p>デザイン</p>	<p>1. 美的効果を主とするもの</p> <p>2. 機能的効果を主とするもの</p>	<p>1. 作品の中の開閉, あき等によって効果的に作品に強弱を与えることが難しい。</p> <p>2. 表現の積極性が少くなる。 清潔感が理解し難い。 明快さ(単純化による)がよく理解できない。 色彩と機能の関係等の理解が難しい。</p>